

□會友及讀者諸君より早々年賀狀を賜はり難有御禮申上候

□本號口繪は〇W四つ切大のスケツチに候

□石川欽一郎氏は爾來本會幹部の一員として本誌の發展に御盡力下さること、相成候、今後有益なる翻譯並びに講話は毎回本誌に現はれ申べく猶異彩ある氏の繪畫も屢々諸君に見まへ可申候

□會友報告に長谷川年行氏とあるは利行の誤に御座候

□大阪地方の讀者が振替貯金にて送金せらるゝに、徃々自己の姓名のみにて宿所の記載なきもの有之、發送上迷惑致候間タトエ引續きての御送金の場合にても必ず宿所御明記有之度候、猶裏面へ送金の理由も必ず明記被下度候

□「みづゑ」十、十二、十三、品切と相成二及び九は賣捌店より回收候間五六冊現存、美術家小傳も四五冊有之候

近 事

△日本水彩畫會研究所月次會兼忘年會は舊

臘廿一日開會、午前は眞野講師の透視畫法

講義あり、午後より出品二百餘點に對する

丸山磯部永地大下諸氏の批評あり、何れも

熱心の作のみなりしが、夏目氏の人物畫數

枚は大に注意を惹けり。選評の結果は一等

夏目七策氏、二等赤城泰舒氏、三等鈴木錠吉

氏にしてそれ〴〵賞あり、終つて忘年會に

移り、手品、尺八、ヴァイオリン、蓄音機、琵琶、影芝居、喜劇等ありて八時過散會したり

△太平洋畫會にて去月十七日午後より谷中

眞島町研究所に於て總會を開き、終つて懇

親會を催ふし、種々の餘興等ありて極めて

盛會なしと。

問に答ふ

■雜誌等にあるやうな書き易い水彩畫の集

めた手本はありませぬか(中垣正徳)◎一

時澤山出版されしも今は畫手本はあまり見

かけず■濁りたる池等に物の影のうつりた

る時如何にしてよきか空の映りたる部分だ

け光らすにや(中山巍)◎空の光りだけ殘

して其蔭の水色と同じ色で全體を塗りそし

て濃淡をつけるがよからんかゝる事は可成

自己で工風されたし■ハガキ文學、少年パ

ツク、小學校の發行處及定價(一ノ宮健治)

◎ハガキ文學は小石川久堅町成美堂發行十

錢、少年パツクは京橋區南紺屋町同社、八

錢、小學校は神田表神保町同文館月二回一

冊十錢

讀者の領分

■肉筆繪葉書の交換を願ふ(松本市空淵忠

地英雄)■九ツ切糊いらす水貼梓御不用の

方は中村先生著『畫道一班』と御交換を乞

ふ(岡山縣立津山中學校第四舍中山巍)■

吉田氏『歐米寫生旅行』みづゑ九、十、

十七、十八、十九、の五冊と交換を乞ふ■

自筆水彩畫はがきも『福井市浪花町天井』

■美麗なる繪葉書を賜はりし諸君に謝す、

今後ワツトマン十六切大のスケツチ御送下

さる御方に雜誌一冊御禮として進呈す、次

に諸君のうちで別に古くとも損所なき畫架

及び三脚を格安に譲り受たし(米澤市免許

町下千三百八佐藤周子)■洋畫講義錄全部

十三冊廉價貳圓五十錢にて譲る(近江八幡

町牧堀尾秀司)